

会 議 議 事 録

1 会議名	第2回長岡市文化財保存活用地域計画策定協議会
2 開催日時	令和6年7月25日(木) 14:00～
3 開催場所	さいわいプラザ階5階 501会議室
4 出席者名	協議会委員 平山委員長、飯島副委員長、坂井委員、田中委員、新野委員、松井委員、佐藤委員、茂野委員(三ツ井副参事代理)、五十嵐委員、関委員、野澤委員、平澤委員、桜井委員 委員以外の出席者 (事務局＝科学博物館) 金垣参事(科学博物館長)、神保館長補佐、鳥居係長、丸山主査
5 欠席者名	鷺津委員、小林委員
6 議題	(1) 素案第2章 長岡市の文化財の概要について (2) 素案第3章 長岡市の歴史文化の特性について (3) 素案第5章 文化財の保存活用に関する目標(将来像)について
7 協議結果の概要	(1) 素案第2章 長岡市の文化財の概要について 事務局より説明(資料1 第2章) (2) 素案第3章 長岡市の歴史文化の特性について 事務局より説明(資料1 第3章) (3) 素案第5章 文化財の保存活用に関する目標(将来像)について 事務局より説明(資料1 第5章)
8 協議の内容	
委員	(1) 素案第2章 長岡市の文化財の概要について 事務局より説明 ・未指定文化財をどこまで拾い上げるかは、特に民俗文化財の場合重要となってくる。
委員	・指定文化財の件数表は、本文が時代別に記述されているようなので、時代別に

	<p>した方がよいのではないか。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見を踏まえて、内部で検討したい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・合併時に旧市町村の指定文化財は全て長岡市指定文化財に引き継いだか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・全て長岡市指定文化財に引き継いだ。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・そう言う点では各地域を平等に尊重したということで、地域のあり方を大切にしたいということだと思う。
事務局	<p>(2) 素案第3章 長岡市の歴史文化の特性について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長岡市の歴史文化の特性について、5つの分類とキーワードを設定し、これに該当する文化財を提示した。この分類についてご意見をうかがいたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・特性の分類とキーワードの設定基準に整合性が取れていないところがある。もう少し適切な言葉を選ぶ必要がある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・長岡市では、地域資源を磨き上げ、伝承や地域の誇りに助成する地域の宝磨き上げ事業がある。市域に22個ある中で文化財に指定されているものを、可能であれば載せていただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・5つの特性を網羅的に挙げた意図はわかったが、全部が当てはまるとかえって不鮮明となり、長岡はこれだというものが欲しい。今後、決めていくことになる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・関連文化財群と保存活用区域を視野に入れながら、どのような特性を重点的に取り上げるか、考えを整理しながら取り組んでいく必要がある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・この段階ではまず網羅的にどういうものがあるか整理したという段階でよいかと思う。これらを参考に地域との関連性も考えてもらえたらと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・長岡と言われて最初にイメージするのは、雪が多く降る、信濃川、日本海、守門の山などで、誰でもイメージしやすいところかあ入るとよいのではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・いただいたご意見を踏まえて、内部で検討したい。

	(3) 素案第5章 文化財の保存活用に関する目標（将来像）について 事務局より説明
委員	・市民が文化財とともに暮らしているという市民目線の方向性が必要である。
事務局	・目標を実施するための方向性についてはさらに検討していきたい。
委員	・市の総合計画は令和8年度に策定となる。市の総合計画と県の基本理念（大綱）を踏まえた形で考えてほしい。
事務局	・市の総合計画については、方向性に大きな変更はないと思われるが、しっかり情報収集して進めていく。
9 会議資料 別添のとおり	